

## 令和3年度 社会福祉法人めだかすとりいむ 事業報告書

新型コロナウイルスが猛威をふるい、社会福祉法人めだかすとりいむも大きく影響を受けました。新型コロナウイルスの陽性者、濃厚接触者対応に苦慮しながらも感染防止対策を徹底させ、通常の運営を継続させることに集中した一年でした。

### 【法人の理念と運営方針】

#### 理念

『せっかく生まれてきた一度きりの人生をこの街の中で一緒に豊かに生きていきたい』  
この想いを具体的に一つ一つ形にして支え続けていきます

#### 運営方針

- ・就労支援・ ・一生懸命に働くことを通しての社会参加を支える
- ・生活支援・ ・地域の中で自分らしく豊かに暮らすことを支える
- ・余暇支援・ ・好きなこと・趣味を見つけて楽しむことを支える
- ・子育て支援・ ・発達の遅れや心配のある子供たちの療育と地域の中での子育てを支える

この4つの支援を充実させることによって、障がいのある方の地域での生活を支えていきます

### 令和3年度 重点目標

『必要以上にコロナを恐れず、感染防止対策を徹底しながら、社会に目を向け動き出す』

1. 年間計画に沿った見通しのある法人運営  
年間計画を立案することができました。新型コロナウイルスの影響のため最低限の計画の実施にとどまりました。コロナ禍で、実施できなかったイベント等もありましたが、児童施設以外、各事業所が通常運営できたことは利用者の生活を支える意味でも大きく評価できると考えます。
2. 安定した運営
  - ① 法人の経営強化  
一昨年度同様、コロナ禍でメンバーはじめ、法人各所に影響が出ています。  
すい一つばたけの利用者の出勤率はコロナ禍でも変わらずに安定した出勤率を保つことができました。  
また、課題であった MICS の利用率は、事業の性質上外出の制限などの影響で利用率は横ばいとなりました。
  - ② サポーターズカレッジを活用し、各事業所が計画的に研修を実施することができました。またオンラインを活用しての外部研修にも参加しました。
  - ③ 福祉医療機構のコンサルティングで作成した『職員行動指針』を職員会議で周知する機会を持つことができました。日々の実践の中で職員自身が自分の行動を振り返る機会を持つことができる環境整備が今後の課題です。

- ④ 現在まで実施してきた新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しました。さらに迅速な感染者対応をするために検査キットの整備に努め、感染拡大に効果を発揮しました。
- ⑤ すいーつばたけの売り上げを回復するために、通信販売に力を入れました。その結果すいーつばたけの総売り上げがコロナ前と同等に回復し、年度末にはメンバー給料をコロナ前同水準支給することができました。
- ⑥ オンラインを使用した研修や会議を実施することができました。外部研修もオンラインで受講することができました。
- ⑦ 各部門が次年度の予算計画をたて、それを法人の予算に反映させることができませんでした。今後の課題となります。

### 3. 新型コロナウイルス対策

- ① 出勤時の検温・消毒、施設内の消毒の実施、など徹底した感染防止対策に努めました。
- ② PCR 検査キット、抗原検査キットを常時必要数確保し、迅速に対応することができました。
- ③ 新型コロナウイルス用の対応マニュアルの概要ができました。実践に即したものに变化していくように適宜見直しが必要となります。
- ④ 施設連絡会などでの情報収集に努め、各事業所の感染防止対策にいかしました。

### 4. 修繕改築計画について

修繕計画表の優先順位順に計画的に修繕を実施しました。

さくら館の外壁工事、SELP の自動ドア設置、パン工房床張り替え工事、クッキー工房フローリング張替え工事などを実施しました。

### 5. 研修の充実

コロナ禍ということもあり、研修計画の立案、実施が難しい年度でした。

サポーターズカレッジを活用し、各事業所が計画的に研修することができました。

- 新任研修の実施
- オンラインでの外部研修への参加
- インスタグラム撮影研修
- オンライン「パワーハラスメント」研修

### 6. 理事会・評議員会の定期開催

令和3年度は、役員改選の年度でした。

【理事会開催】

第1回	6月9日	第4回	11月27日
第2回	6月24日	第5回	2月18日（書面評決）
第3回	8月27日（書面評決）	第6回	3月26日

【評議員会開催】

第1回 6月24日

第2回 3月30日

【評議員選任・解任委員会】

6月17日、7月26日、3月16日

7. 運営協議会の開催

コロナ禍のため、開催できませんでした。

8. 部門別

(ア) すいーつばだけ

通信販売の売り上げが好調なこと、各部門の頑張りでコロナ前の売り上げと同等まで回復しました。これを受けてメンバーの給料も年度末にはコロナ前の水準に近づけることができました。

○授産製品の売り上げの回復に努める

新型コロナウイルスの影響で、バザー販売はほとんどありませんでした。

外販や通信販売は引き続き実施しました。カフェは蔓延防止措置の発令に伴い、イートインを休止した時期もありましたが、ランチBOXの提供などの工夫をしました。

○利用者の確保

各特別支援学校に現況報告と新規利用の依頼にあいさつに行きました。

結果、令和4年度には2名の方が新規利用開始となりました。

また、学校の事業所説明会に参加し利用者確保に努めました。

○表現の時間の充実

展示会などにメンバーの作品が選ばれ、発表の機会を持つことができました。

また、表現の時間で使用する材料に変化をつけ、表現の幅が広がりました。

○HACCAP 計画、自己点検の実施

HACCAP の計画に沿った自己点検を、定期的に行うことができました。

(イ) グループホーム

メゾンめだかさくら館の土日運営が安定的かつ継続的に実施することができました。(月3回の実施)

メンバーとの面談で、休日の過ごし方などの意向を聞くことができました。

医療受診同行を定期的に行い、スタッフと正確に情報共有することで利用者の安定につながりました。

新型コロナウイルスの対応マニュアルについて説明会に参加したり、他事業所の聞き取りをし有事のグループホームでの対応について話し合いました。

(ウ) 相談支援センターめだか

職員異動によって、児童相談を強化することができました。

新規の相談が増え、人員補充が課題となっていました。地域のニーズの掘り起こしや他団体との連携などこれからも積極的にすすめていきます。

(工) 地域活動支援センター「めだかSUN」

一人一人に丁寧に向き合い、課題の解決に取り組みました。家庭訪問や相談支援センターとの連携も活発に行いました。

(オ) 居宅介護事業所「ぐー・ちょき・ヘルパーMICS」

今年度も、新型コロナウイルスの影響で依頼数が減少した状態が続いています。行動の制限もあり思うような事業運営が難しい年度でした。

(カ) 児童発達支援事業「めだかのいっほ」

工夫をしながら保護者会、夏まつりの実施や通常保育の継続、個別保育を実施しました。

感染防止対策は徹底していましたが、マスクの着用が難しい低年齢の子供の集団ということもあり新型コロナウイルスの陽性者が発生しました。その後クラスターとなり一定期間休園となりました。保健所や川口市役所と連携しながら対応にあたりました。この経験を今後にかかしていきます。

(キ) 放課後等デイサービス「めだかのいえ」

土曜日の保護者参加イベントを実施しました。(じゃがいもほり、夏祭り、保護者のプール当番)

新型コロナウイルスの陽性者が発生し、一定期間休園となりました。

児童施設には、高機能マスクを配布しています。

9. 事務部門

福祉医療機構のコンサルティングを活用し、職員のキャリアアップ制度を整備しました。

支援記録の電子化導入をすすめています。

10. 地域との結びつき

地域とのつながりを大切にしていきたいという思いは持ち続けていますが、コロナ禍で難しい環境でした。

ずくぼんじょは規模を縮小して実施しました。

小学生福祉教育は小学生のブルーベリー狩りに変更して実施しました。

11. NPOめだかふぁみりいとの連携

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで、可能な時期に各活動が実施されメンバーが参加しました。

またハロウィンパーティを開催し、仮装を楽しみました。

12. 情報発信

・めだか通信の定期的発行

・インスタグラムの積極的掲載を実施し、フォロワー数も増えています。